



後藤泰之
大学学長



後藤 淳
学園総長

昭和四十七年以来、三十二年にわたり大学の充実や環境整備に力を注いできた後藤淳理事長・学長（76）が、三月末で学長を退任しました（グラフ④面に）。今後は学園総長として、大学など四設置校の総轄にあ

後藤淳学長が退任

後任には後藤泰之学長代理

たります。後任は、学園理事で学長代理を務める工学

愛知工業大学の充実と環境整備に力注いで三十二年



愛知工業大学
愛知工業大学情報電子専門学校
愛知工業大学名電高校
愛知工業大学附属中学校

目次

学長式辞要旨	2
前学長の業績	4
17年度大学入試	8
まるごと体験	9
準優勝特集	10・11

発行所
名古屋電気学園
〒464-8540
名古屋市千種区若水3-2-12
TEL (052) 721-0201

2,429人の新人迎える 卒業生は2,198人

卒業生	1,391	大学	1,460	新入生
	68	大学院	81	
	102	専門学校	133	
	582	高校	651	
	55	附属中学	104	

平成十六年度関連学校の入学式は四月五日に大学、六日に高校と中学、八日は専門学校の前に行われました。②③面に関連記事。今年の入学者数は大学が

第76回選抜高校野球大会は四月四日午後四時四十分から、愛工大名電×済美（愛媛）の決勝戦が行われました。雨で試合開始が大幅に遅れ、大会初のナイトゲームになりました。名電は好ゲームを展開したも

第76回選抜高校野球大会 愛工大名電が初の準優勝

の、チャンスにあと一本が出ず、5×6の最少点差で準優勝となりました。選抜野球は三月二十三日に開幕。三年連続七回目出場の名電は、開会式直後の一回戦で京都・立命館宇治戦に競り勝ち、二回戦の岡

工学部千六百六十人、経営情報科学部三百人、大学院八十一人の総計千五百四十一人（うち女性百十六人）。専門学校、高校、附属中学をあわせた新入生総数は二

部電気学科の後藤泰之教授（46）が選任されました。なお、名電高校・附属中学校長には四月一日付で桜井正一前県立中村高校長が着任、渡辺彪前校長は学監に就任しました。

愛工大本山キャンパス建設へ



来年四月開設を目標に、愛知工業大学では「経営情報科学部を基礎とする大学院」の設置準備を進めています。六月に文部科学省へ

千四百二十九人です。一方、卒業式も三月一日の高校から始まり、二十三日の大学で終了。卒業生数

は大学・大学院が千四百五十九人、高校・中学、専門学校との合計は二千百九十八人となっています。

申請する予定で、関連施設として名古屋・本山に四階建ての愛知工業大学本山キャンパス（写真はイメージ図）を建設します。予定地は本山交差点のほぼ南西角。地下鉄東山線、名城線の本山駅に近く、名古屋大学などのある四谷通りに面しています。大学院の教育施設が中心ですが、「インテリジェンス（知性）に出会う場所」が基本コンセプト。一階にはインフォメーションのほかテナントも入居し、軽食をとるなど来場者のくつろげるコーナーにする予定です。

山・岡山城東戦は猛打爆発で大勝、二十年ぶりにベスト8入りしました。続く準々決勝でも2本塁打などで秋田商（秋田）を圧倒して初のベスト4に進み、準決勝では社（兵庫）相手に神懸かり的なスクイズ外しが成功して突き放し、決勝に駒を進めました。写真グラフなどを⑩⑪面に掲載しました。



◇専門学校◇



◇大学◇



◇附属中学◇



◇高校◇



大学・後藤学長の式辞



大学・新入生代表の宣誓



大学・クラブ勧誘も盛ん

入学式アラカルト

式場に勢揃いした各校のフレッシュユマンです

新入生の皆さん、入学おめでとう、ございます。教職員を代表して、心から皆さんの入学を歓迎いたします。また、ご列席いただいた保護者、関係者の皆様が、ここまで育まれたご苦労に感謝しつつ、ともに今日の喜びを分かち合いたいと思います。大切な方々の未来を本学に託していただいたことに、教職員全員が重い責任を感じております。新入生を迎え入れるということは、大学に新しい力が注入され、伝統にまた一つ、新たな輝き加わることです。今日は本学にとって、誠に喜ばしい日であります。

本日入学された皆さんは、これから本学の伝統を継承し、高い教養と確かな知識、そして何より、豊かな人間性を身につけるために、愛知工業大学の一員となられたわけですね。

まずはじめに、今日から皆さんの母校となるこの愛知工業大学が、いかなる伝統、理念の下に、これまで幾多の困難を乗り越えて発展してきたか、また、将来さらなる飛躍のために、どのような道を進もうとしているのか、といったこととお話したいと思っております。

本学は「自由・愛・正義」という建学の精神の下、一九五九年（昭和三十四年）四月に、中部地方初の工系単科大学として誕生しました。その後、充実・整備を進め、工学部においては工学に関するほぼ全ての専門分野を網羅し、教育課程においても学部、大学院、修士課程、博士課程を設けるに至りました。平成十二年四月には、工学部に加え、経営情報科学部を設置し、ビジネス分野の教育研究を実施するとともに、情報に関する教育研究の一層の充実を図ることになりました。

本学の最大の特徴は、「実学教育」の実施にあります。工学は「ものづくり」、産業の根幹となる分野です。情報は、産業や社会全般、或いは個人の暮らしにとって必要不可欠な分野となっております。ビジネスは、

チャレンジする気持ち大切に 共に到達可能な目標考えよう

後藤学長の式辞（要旨）

今日においては情報と同様に、産業・社会にとって非常に大切な分野であり、また今後さらに重要性を増す分野でもあります。科学技術に関する教育の振興、先進的なテーマへの積極的な取り組みこそが、本学の目指している「社会の必要とする人材の育成」を実現します。これは、本学の伝統的な長所の一つである、就職の強さ、という形で社会の評価を得ています。本学の目指している研究の高度化は、質の高い教育を支えるものであると同時に、産業との強い連携を図る上で欠くことのない出来栄です。

この場をお借りして、新入生の皆さんに申し上げたいことがあります。それは、「チャレンジする気持ち」を持ち続けてほしいということです。失敗を恐れず、何事も自分でやってみてください。成功より、失敗から学ぶものの方がはるかに多いといわれています。本学は、チャレンジする人を全力を挙げてバックアップします。

学生支援という観点から、本学は近年、様々な取り組みを行って来ました。現実の諸問題と正面から向き合い、皆さんから寄せられる様々なニーズに対応していきまします。もし本学の教育に物足りなさを感じる人がいれば、さらに高い目標を設定します。知識や教養を着実に身につけた人に対しては、最も効果的な教育・指導を実施します。学生生活に漠然としたイメージしか描けていない人には、達成可能な目標と、それに至るまでの具体的なプロセスを、一緒に考えたいと思っております。教育の現場における主体は、あくまでも皆さんたち、学生自身なのです。

本学でもっとも過ごすこれからの歳月、それは皆さん一人ひとりのかけがえのない大切な時間であるとともに、愛知工業大学の新たな歴史や伝統となるのです。ともに輝き、価値ある存在となるため、教職員一同それぞれの職務を励むことにお約束するとともに、皆さんの研鑽、努力を心から期待します。

後藤泰之（ごとう・やすゆき）学長
 昭和60年3月、東海大学大学院工学研究科電気工学専攻博士課程後期を単位取得で満期退学（昭和63年9月に工学博士号取得）。4月に東海大学工学部電気学科助手となり、同学科講師を経て平成2年2月に名古屋大学工学部電気学科講師、平成5年4月に愛知工業大学工学部電気工学科助教授に就任、平成12年10月から教授。

卒業式アラカルト



大学・袴姿の女性たち



大学・先輩の胸上げ



高校・堂上選手を囲んで



◇専門学校◇



◇大 学◇



◇附属中学◇



◇高 校◇

卒業生代表が答辞を述べる場面に揃えて見ました

平成15年度就職状況（昼・夜間主合計）

学科名	卒業生	進 路		
		進学	その他	就職
電気工学科	169	11	12	146
電子工学科	157	10	21	126
応用化学科	147	11	19	117
機械工学科	153	15	9	129
経営工学科	6	0	4	2
土木工学科	128	9	31	88
建築学科	178	4	46	128
建築工学科	113	2	16	95
情報通信工学科	113	8	16	89
経営情報学科	159	3	40	116
マーケティング情報学科	68	3	20	45
計	1,391	76	234	1,081

就職支援センターが三月三十一日現在でまとめた大工学部、経営情報科学部の就職状況（昼間主、夜間主合計）は、卒業者数千三百九十一人に対して就職千八十一人で、今年も就職に強い愛工大を証明した形になりました。

今年も「就職に強い愛工大」証明
サービス業に三百余人が進む
経営情報科学部の一期生もまずまず

就職支援センターが三月三十一日現在でまとめた大工学部、経営情報科学部の就職状況（昼間主、夜間主合計）は、卒業者数千三百九十一人に対して就職千八十一人で、今年も就職に強い愛工大を証明した形になりました。

プラザで企業研究会開き就職サポート

企業研究会が三月十六日から三日間、A I Tプラザ一階で開かれました。延べ二百二十社がコーナーを設置。学生約八百五十人が企業ガイドを手に各社担当者と面談、一人で五社十社を回る学生もあるなど、来春の就職目指し、早くも動きが活発化しています。



◇愛知工業大学情報電子専門学校 卒業百二人のうち大学編入二十人、就職七十四人。

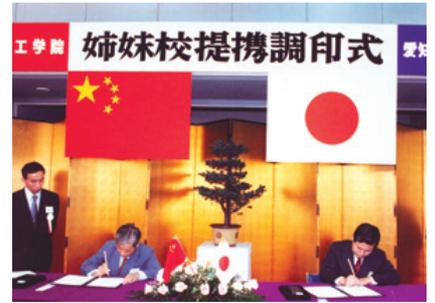


現在の大学キャンパス

1961年5月、大学館完成式でのテープカット。前列左から後藤鉦二前理事長、後藤泰之学長、後藤前学長



就任当時の後藤前学長



南京工学院(現東南大)と姉妹校提携の調印式(1980年12月)

完成した本部棟
(一九六七年一月)



一九五七年四月に名古屋電気学園に就職、一九七二年二月には急逝した後藤鉦二理事長・学長を引き継いだ後藤前学長。学長退任までの四十七年間に写真でたどりましました。

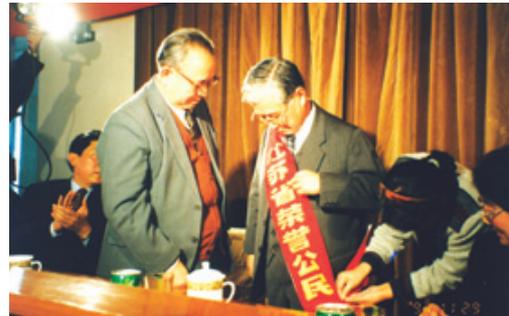
写真でたどる後藤前学長の足跡
名電就職から退任までの47年間



藍綬褒章受章祝賀会で受章を喜ぶ後藤夫妻
(一九八四年六月)



講堂兼体育館・鉦徳館が完成(1977年1月)



中国・江蘇省の名誉省民章を受ける後藤前学長
(一九九一年一月)



計算センターの完成式(1977年11月)



学園創立90周年記念式典(2002年11月)



最多安打日本記録選手がバットをプレゼント
(一九九四年一月)

愛工大キャンパスをメイン会場に2学会開催

5月20~21日にゴム協会年次大会

社団法人日本ゴム協会(山口幸一会長)の2004年年次大会(第71回通常総会)が5月20~21日、12号館3階の講義室などで開かれます。年次大会運営委員会(委員長=山田英介・工学部応用化学科教授)によると、2日間で学会員や企業関係者ら延べ約200人が参加。初日は午前中に2会場、20件の「若手発表の部」、午後は303講義室で通常総会が開かれます。午後3時50分からは、愛和会館で堀籠登喜雄・豊田合成取締役会長の「技術革新とこれからの企業経営~日本的経営の再評価~」と題する特別講演が行われます。2日目は36件の「一般発表の部」など。

9月8~10日は土木学会年次学術講演会

社団法人・土木学会(御巫清泰会長)の平成16年度全国大会第59回年次学術講演会が9月8~10日の3日間、愛工大のほとんどの講義室を使って開かれます。今回のテーマは「土木事業への市民参加」で、延べ20,000人の参加が予定されています。研究発表は7部門に分けて行われ、約4,000件が発表されることになっています。5月末の学会総会で会長に就任する森地茂・東京大学大学院工学系研究科教授による特別講演のほか、各界・各分野で活躍する人々を招いてのパネルディスカッションも計画されています。

愛知工業大学教員の研究に高い評価つきつき

文科省の産学連携構想に選定

都市環境学 正木教授らの防災プロジェクト

工学部都市環境学科の正木和明教授らが進めている産学共同研究プロジェクト「地震情報活用と防災拠点形成による地域防災力向上技術開発」が、文部科学省の平成十六年度「私立大学学術研究高度化推進事業」に係る産学連携構想に選定されました。

この結果、研究装置関係では二分の一以内、研究設備関係では三分の二以内の文科省補助金が受けられることとなります。文科省には、地域防災研究センター

江口教授らの半導体評価S 文科省 二千二百万円を補助

工学部電気学科の江口一彦教授らによる「半導体デバイス」の評価検証システムが、文部科学省の平成十五年度私立大学等研究設備整備費等補助金の対象研究として認められ、二千二百

の建設、五年間にわたるプロジェクト研究の推進計画が申請してあります。このプロジェクトには、

市原・堀・C&C・中電・大幸財団からも助成

◇市原国際奨学財団◇ 榎田教授、小橋講師の二人に各五十万円

財団法人・市原国際奨学財団(市原茂理事長)は、第十二回(平成16年度)研究助成金として、工学部機械学科の榎田玄一郎教授

八十万二千円の助成が受けられることになりました。江口教授をはじめ同じ電子工学専攻の徳田豊教授、堀田厚生教授、岩田博之講師の四人による共同研究。半導体の基本素子からLSI(大規模集積回路)に至る

全般的なテスト・評価、基礎的データの集積、研究成果の検証に威力を発揮することになります。

正木教授をはじめ建部謙治、岡田久志、長瀧重義、成田国朝、奥村哲夫教授ら都市環境学科九人、経営情報科学部情報科学科一人の計十人が参加、さらに清水建設、応用地震計測、ファルコンの民間三社の技術陣も加わって大規模な研究が進められることとなります。

市原・堀・C&C・中電・大幸財団からも助成

(機械工学専攻)と経営情報科学部情報科学科の小橋勉講師(経営情報システム専攻)に、各五十万円の助成を決めました。

助成対象となった研究テーマは、榎田教授が「拡散燃焼の非定常挙動に与える浮力の影響に関する数値解析」、小橋講師が「企業間関係の複雑性をもたらす要因の析出」です。

◇大幸財団◇ 山田、酒井両教授に計二十八万円の助成

財団法人・大幸財団(永澤満理事長)はこのほど、平成16年度助成として工学部応用化学科応用化学専攻の山田英介教授に「学会等開催

◇堀情報科学振興財団◇ 鳥井助教授に百万円

財団法人・堀情報科学振興財団(堀誠理事長)は、平成16年度の研究助成として工学部電気学科の鳥井昭宏助教授(電気工学専攻)による「非接触温度計測に基づくメカトロニクス機器の動作推定」に対して百万円の助成を決定しました。

ミニチュアロボットの変位を、熱情報などを基に非接触温度計を用いて推定する方法の研究。

◇C&C振興財団◇ 国際会議で論文発表

鳥井助教授に25万円助成

財団法人・C&C振興財団(佐々木元理事長)は二〇〇四年前期の国際会議論文発表助成として、鳥井助教授に二十五万円の助成を決めました。五月三十日か

助成」として八万円、酒井忠雄教授に「研究機関の国際交流特別助成」として二十万円を決めました。

山田教授は五月二十(二十一日、愛工大を会場に開催される日本ゴム協会二〇〇四年年次大会に運営委員長として参画します。

ら英国グラスゴーで開かれるヨーロッパ国際精密学会で、「ミニチュアロボットの変位計測方法」と題して論文発表します。

◇中電基礎技術研究所◇ 雪田助教授ら三人に百七十万円助成

財団法人・中部電力基礎技術研究所(太田宏次理事長)は、平成15年度研究助成として工学部電気学科の雪田和人助教授(電気工学専攻)らによる「競争環境下における分散電源の系統連系に関する研究」に対し百七十万円の助成を決めました。共同研究者は同じ専攻の後藤泰之教授、一柳勝宏教授。太陽光発電、風力発電、燃料電池発電など、同じ系統内に多数の分散電源が存在する場合の問題点解明を進める研究。

また酒井教授は、学術交流提携をしているタイ国・チェンマイ大学理学部のソムチャイ・ラパナントノックパーム博士を客員研究員として招請するなど、五月の一カ月間、フロー分析法の共同研究を進めることになっています。

鵜飼、永谷、川村前教授に 名誉教授の称号を贈る

名古屋電気学園が、退任した愛知工業大学教授に贈る名誉教授の称号授与式が四月八日午前十一時三十分から、大学本部棟四階会議室で行われました。

今回、名誉教授章が授与されたのは、今年三月末で基礎教育センターを退任した鵜飼正和・前客員教授兼学園顧問、永谷彬・前自然科学教室特任教授、川村仁

視・前総合教育教室教授の三氏です。

後藤淳・理事長、後藤泰之・大学学長、稲垣慎二・副学長、澤五郎・副学長ら参加者全員で記念撮影(鵜飼前客員教授は欠席)したあと、後藤理事長が一人ひとりに名誉教授章を贈りました。この後、三氏の永年にわたる労をねぎらうなど、昔話にも花が咲きました。



鵜飼正和氏



永谷 彬氏



川村仁視氏

工学部教授らに論文賞

◇電気学会学術振興賞◇

電気学科・宮地巖客員教授
電気学科・依田正之教授
中部電力・植田俊明副主査
中部電力・金原和人課長
共著論文「77kV送電系統における避雷器放電電流波形の特性」が、社団法人・電気学会(深尾正会長)の第60回電気学術振興賞(論文賞)に決まりました。五月二十一日、東京で開かれる第92回通常総会で表彰されます。依田教授によると、高性

◇日本工学教育協会賞◇

能酸化亜鉛形避雷器の雷撃対応性能について、放電電流波形の観点から始めて系統的に解明しました。
都市環境学科・青木徹彦教授
論文「できる学生ができない学生を教える構造力学演習の試み」が、社団法人・日本工学教育協会(佐々木元・会長)の第13回協会賞(論文・論説賞)に決まりました。七月三十日に石川県野々市町で開かれる第52回年次大会の席上、表彰式が行われます。

論文提出も含め 博士が四人誕生

卒業式に学位記授与
四月五日に大学・鉦徳館で行われた卒業式の席上、博士号(工学)を取得した四人に学位記が贈られました。今春、大学院博士課程を修了した山田浩、宇佐美貴史、水谷聡志さんの三人と、提出論文が認められた佐藤暢也さんの計四人。式の後、本部棟四階会議室で大学幹部、指導教員らと論文作成の苦労話などで歓談しました。



山田 浩さん



宇佐美貴史さん



水谷 聡志さん



佐藤 暢也さん

博士号を取得した4人の研究テーマなどは次の通りです。

- ▽山田 浩さん (大学院工学研究科博士課程電気・材料工学専攻)
「大規模系統電力故障時の安定度推定法および電源制限発電機の選択法に関する研究」
- ▽宇佐美貴史さん (大学院工学研究科博士課程生産・建設工学専攻)
「多変量解析を用いた消費者の選択行動に関する研究」
- ▽水谷 聡志さん (大学院工学研究科博士課程生産・建設工学専攻)
「拡張点検モデルに対する最適保全方策に関する研究」
- ▽佐藤 暢也さん (工学部応用化学科研究生)
「種々のポリウレタンによる一液性エポキシ接着剤の改質に関する研究」

大学は小島君、高校は花井君 平成16年度の大矢奨学金を交付

今春、愛知工業大学と愛工大名電高校に入学した成績優秀者のうち、名電高校と愛工大附属中学の出身者に贈られる平成16年度大矢奨学金が、大学は小島研吾君(経営情報科学部経営情報学科コンピュータシステム専攻=名電普通科理工コース)、高校は花井悠哉君(普通科=附中中高一貫コース)の2人に決まりました。大学での交付式は4月5日午後零時50分から本部棟1階応接室で行われ、後藤淳・理事長が同伴者の母親・律子さんと小島君に奨学金を贈りました。また高校の交付式は4月6日午前10時45分から、学園本部棟の2階応接室で行われ、母親・裕子さんと花井君に後藤理事長が奨学金を手渡しました。

新会長に弓場氏就任

愛工大後援会の定時総会開く



平成十六年度の愛知工業大学後援会定時総会が四月五日午前十一時から、愛

和会館講堂に約五百人が出席して開かれました。葛谷捷臣会長、後藤淳・学園理事長、後藤泰之・学長のあいさつに続き、平成十五年度事業報告や平成十六年度事業計画、予算案の承認などが

- ▽ 会長 弓場忠道
- ▽ 副会長 原田正道、津川英明、戸田澄雄
- ▽ 監事 清水哲哉、神谷昭行
- ▽ 顧問 高木博、葛谷捷臣



「飛躍」完成 学口 大学の正面ゲート脇に、大学後援会から寄贈された

女性像のモニュメント「飛躍」が完成、四月五日に除幕式が行われました。日展作家・堀龍太郎氏の作品で、手を広げた女性像の高さは一・九メートル、台座は一・二メートルあります。除幕式では、後藤淳学園理事長、後藤泰之学長、葛谷捷臣後援会長それに堀氏が白布を取り除いてモニュメントの完成を祝いました。

第三回 A I T サイエンス大賞の募集要項決まる

十一月六日に大賞発表とデモ

エントリーの締め切りは九月十日

大学が東海四県の高校生を対象に、科学への興味と関心を高めてもらおうと制

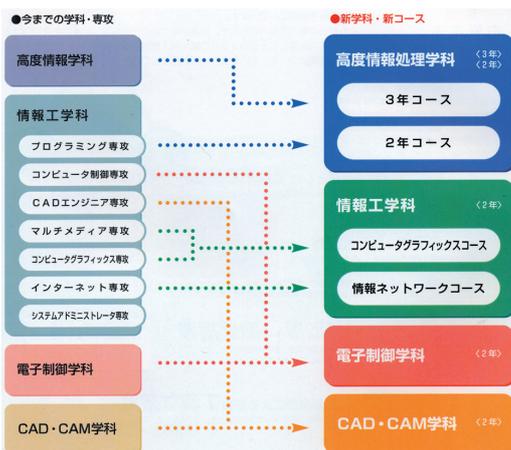
定した三回目の「A I T サイエンス大賞」募集要項が決まりました。「自然科学

学」「ものづくり」の二部門で、作品のエントリー期間は六月七日～九月十日。九月二十五日で応募を締め

来年四月 専門学校の学科編成が変わります

企業ニーズに即応

コース制導入し専門化



愛知工業大学情報電子専門学校は、より高い専門性を持った技術者を求める企業ニーズに

これまでもよりさらに専門的、実践的な技術が身に付くよう、三年と二年のコースを持つ高度情報処理工学を新設。また、情報工学、電子制御、CAD・CAMの三学科を見直し、より高い技術の修

得や資格取得を目指すようになり。七専攻あった情報工学科は、CG、情報ネットワークの2コースに充実されます。

大学案内が出来ました



大学・広報室は、学科再編などの最新情報を盛り込んだ「大学総合案内」を作成、発行しました。A4版、オールカラーの108ページ＝写真は表紙＝で、新しい学科・専攻の研究内容や教授陣、施設・設備などを見やすいレイアウトで紹介してあります。入手を希望される方は、広報室＝0565(48)8177＝までご連絡下さい。

地区の懇談会は今年も6会場

愛知工業大学後援会が今年開催する地区懇談会の会場が、上表のように決まりました。六回とも、すべて土曜日午後一時からの開催。学生たちの学校での生活や成績、大学の就職への取り組みなどに詳しく説明する予定です。

	地区	会場
8月28日	岐阜	岐阜グランドホテル
9月4日	関西	京都タワーホテル
9月11日	三重	四日市都ホテル
9月18日	静岡	グランドホテル浜松
9月25日	中・四国	岡山ロイヤルホテル
10月2日	北陸	ホテルイン金沢

平成17年度大学入試日程決まる

一般は1月29日の前期日程でスタート

平成17年度の大学入試日程、専攻別募集人員が、下表のように決まりました。推薦入試は、推薦入試は学業や部活で優秀な成績をおさめた「総合」が11月1日で最も早く、一般入試は来年1月29日からの「前期日程」がトップバッターです。大学入試センター試験を利用する入試では、1次、2次とも愛工大独自で課す入試はありません。なお、試験は大学内の会場のほか、地方会場もありますので、詳しくは下記の番号で入試広報課へ問い合わせして下さい。

Tel : 0565-48-8121 (代表) Fax : 0565-48-4840

平成17年度入試のスケジュールと専攻別募集人員一覧

	入試制度	出願期間	試験日	合格発表
【注】推薦の社会人1次・2次はイブニング履修、それ以外の入試はすべてフレックス履修です	総合	10月21日～10月26日	11月1日	11月10日
	一般	10月29日～11月4日	11月14日	11月20日
	女子学生		11月15日	
	社会人1次			
	社会人2次	3月1日～3月7日	3月15日	3月19日
一般	前期日程	1月6日～1月20日	1月29日～31日	2月6日
	前期日程奨学生		1月30日	
	中期日程	2月1日～2月9日	2月15日	2月21日
	後期日程	3月1日～3月7日	3月15日	3月19日
	センター1次	1月18日～1月27日	—	2月6日
	センター2次	2月25日～3月9日	—	3月19日

五、六月に13会場が入試説明会

平成十七年度の愛知工業大学入試について、各地の高校進路指導担当者らの理解を深めるとともに、愛工大への受験指導をしてもらおうと、今年も五月から六

月にかけて、13会場が入試説明会を開催します。日程、会場などは表の通りで、スタートは五月十九日の名古屋ガーデンパレス、締めくくりは六月十一

日の香川県・全日空ホテルクレメント高松となります。開催時間は、名古屋会場が午後一時から、その他の会場は午後二時からで、各会場とも説明会開始の三十分前から受け付けが始まります。

◇入試説明会のスケジュール◇

	開催日	開催地	会場
5月	19日(水)	名古屋	名古屋ガーデンパレス
	25日(火)	岐阜	ホテル330グランデ岐阜
	26日(水)	津	ホテルグリーンパーク津
	27日(木)	浜松	グランドホテル浜松
6月	28日(金)	静岡	ホテルアソシア静岡
	1日(火)	富山	名鉄トヤマホテル
	2日(水)	金沢	ホテルイン金沢
	3日(木)	福井	福井ワシントンホテル
	8日(火)	松本	ホテルブエナビスタ
		彦根	彦根プリンスホテル
	9日(水)	大阪	新大阪ワシントンホテル
月	10日(木)	岡山	ホテルグランヴィア岡山
	11日(金)	高松	全日空ホテルクレメント高松

学部	学科	専攻	募集人員	
			F	E
工学部	電気学科	電気工学	119	21
		電子工学	130	—
		情報通信工学	120	—
	応用化学科	応用化学	134	6
	機械学科	機械工学	131	9
		知能機械工学	90	—
		土木工学	80	6
	都市環境学科	建築学	107	12
		建築環境学	75	—
		合計		1,257
科経学営部情報	情報科学科	経営情報システム	91	9
		コンピュータシステム	100	—
	マーケティング情報学科	マーケティング情報	80	—

【注】 F : フレックス履修 E : イブニング履修

「まるごと体験ワールド」開催

開催日	テーマ	対象	定員	時間	担当教員	参加費
7月31日	紙でつくる建物模型	小4以上	25人 25人	10:00~12:00 13:00~15:00	建: 林 金之教授 松本壮一郎助教授	1,000円
	ロボットに挑戦!	小5~中学生	10人 10人	10:00~12:00 13:00~15:00	情: 小西たつ美講師	
	生活の中の光と音について	小4以上	10人	10:00~12:00	環: 比嘉俊太郎教授	
	愛ちゃんに挑戦!	小4~中学生	25人	10:00~15:00	マ: 石垣 尚男教授	
	竹とんぼを飛ばそう	小4~6年生	20人	10:00~12:00	知: 岩永 弘之教授	
	電子楽器の製作	小4~中学生	36人	10:00~16:00	知: 平松 誠治講師	
7月31日 8月1日	透過型電子顕微鏡で原子像に挑戦	高校生	各5人	10:00~15:00	子: 岩田 博之講師	2,500円
	手作り電池であそぼう	中学~高校生	10人 2日間	10:00~15:00	気: 一柳 勝宏教授 雪田 和人助教授	5,000円
	パソコン分解講座	小学~高校生	各50人	10:00~16:00	土: 四俣 正俊教授 鈴木 森晶助教授 気: 新宮 博康助教授	1,000円
8月1日	コンピュータプログラミング入門	小4~中学生	20人 20人	10:00~12:00 13:00~15:00	コ: 水野 勝助教授	1,000円
	川の生き物の観察会	小学~高校生	※90人	10:00~15:00	環: 内田 臣一助教授	1,500円
	紙飛行機に挑戦	小4~6年生	12人 12人	10:00~12:00 13:00~15:00	機: 水谷 充助教授	1,000円

気: 電気工学専攻 子: 電子工学専攻 情: 情報通信工学専攻 建: 建築学専攻 環: 建築環境学専攻 機: 機械工学専攻
 知: 知能機械工学専攻 土: 土木工学専攻 コ: コンピュータシステム専攻 マ: マーケティング情報専攻

身近な暮らしの中からテーマを選び、小学生から高校生はもちろん、保護者にも体験を通して科学を楽しく理解してもらおうと、今年も7月31日と8月1日の2日間、「まるごと体験ワールド」が開かれます。開催される講座のテーマ、対象者、定員、参加費などは上の表の通りです。希望者ははがき、Faxに①郵便番号②住所③氏名④学校名⑤学年⑥電話番号⑦参加希望講座⑧同伴す

る保護者数一を明記し、6月14日~23日に下記住所のエクステンションセンターへ申し込んで下さい。希望者多数の場合、抽選となります。なお、表の中の※印は、保護者を含めた定員です。

〒470-0392 豊田市八草町八千草1247

Tel: 0565-48-8121 (代) Fax: 0565-43-1335



このフェスタは、来年三月に開幕する愛知万博(愛・地球博)に合わせて活動が本格化するのを前に、コン

完売」でした。このフェスタは、来年三月に開幕する愛知万博(愛・地球博)に合わせて活動が本格化するのを前に、コン

大学コンソーシアムせと加盟の六大学
春のフェスタ開催
模擬店などにぎわう

瀬戸市文化センターなどを会場に四月十八日、大学コンソーシアムせと加盟の六大学などが企画した愛・地球博スプリングフェスタが開かれました。愛知工業大学からは、愛工大祭実行委の三十六人が中心となつて焼きそば屋台を出展(写真)。百三十食を用意しましたが、行列がでけるほどの人気で、もちろん「ばっちり完売」でした。

テーマは「HANDS」

十月十三日から愛工大祭

十月十三日(水)~十八日

(月)、土・日曜日をメイン

に開催されます。愛工大祭

実行委員会はこのほど、テ

ーマを「HANDS」ハン

ズ(手)」と決定。渉外担当・

佐々木啓充君によると「H

ANDS」は「手と手」、「助

け合い」、「役割」、「拍手

などの意味。「手と手」が

つながりあって、大学祭に関

わった人が一つになれる。

そしてお互いが「助け合

い」、それぞれの「役割」を

果たしている。また、大学祭

を成功させてお客さんから

「拍手」をもらおう。こんな思

いを込めて、愛工大祭のテ

ーマにしたのだそうです。

第76回選抜高校野球

第76回選抜高校野球大会は3月23日に開幕、4月4日まで甲子園で熱戦が展開されました。3年連続7回目の出場となった愛工大名電は、開会式後の第一試合で立命館宇治（京都）との接戦を制して2回戦に進み、岡山城東戦には大勝して20年ぶりのベスト8入りを果たしました。準々決勝でも長打攻勢で秋田商に大勝し、初のベスト4。社（兵庫）とは死闘を繰り広げて競り勝ち、決勝へ駒を進めました。済美（愛媛）戦ではチャンスにあと1本が出ず、初優勝を逃しました。

活躍ぶりを写真で振り返って見ました（スタンドでの応援を除き、甲子園の写真はすべて、中日新聞の提供です）

▽1回戦（3月23日）

愛工大名電	0	0	1	0	0	1	2	1	0	5
立命館宇治（京都）	0	1	0	0	1	0	0	0	2	4

▽2回戦（3月28日）

岡山城東（岡山）	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
愛工大名電	2	0	0	1	3	0	3	0	×	9

【本塁打】佐々木（愛）

▽準々決勝（4月1日）

秋田商（秋田）	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
愛工大名電	0	1	0	1	1	1	0	3	×	7

【本塁打】梶田、鈴木（愛）

① 2回戦 5回裏2死で2点本塁打を放つ佐々木孝徳選手
 ② 準々決勝 4回裏1死で梶田京太選手が勝ち越しの右越え本塁打



チアガールや応援団も頑張りました



選抜旗を受ける渡辺校長 ⑤



入場行進する愛工大名電ナイン



◇ 1回戦
 ③ 7回表1死2、3塁でスクイズを決める長尾欽樹選手
 ④ スクイズで佐々木孝徳選手が勝ち越しのホームイン



⑤ 準々決勝 庄巻の15三振を奪った丸山貴史投手の力投





おめでとう準優勝！

準決勝（4月3日）

社（兵庫）	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2
愛工大名電	0	0	2	0	1	0	0	0	×	3

決勝（4月4日）

済美（愛媛）	1	2	1	0	0	0	2	0	0	6
愛工大名電	0	0	3	0	0	0	0	2	0	5

準決勝 9回表の社1死3塁で、スクイズを外す丸山貴史投手（左）と長尾欽樹捕手（中央）のバッテリー。倉野監督も「丸山がよくぞ外し、長尾はよくぞ捕球した」と激賞しており、歴史に残る名場面になりそうです



決勝 ⑤3回裏1死1塁で送りバントを決める柴田亮輔選手。相手捕手の悪送球で1塁走者が生還⑥8回裏2死満塁で、中前に2点適時打を放つ丸山貴史選手



準優勝旗を受ける
愛工大名電・梶田京太主将



準優勝旗を先頭に校門前に整列



準優勝を祝福する後藤理事長

盛大に準優勝報告会



試合の報告をする倉野光生監督



カメラの放列を敷く報道陣

講演会・姉妹校訪問・強化遠征・・・

春 大学で国際交流盛ん

訪日学者講演会

アリ・イヴァスカ教授
(フィンランド)



四月十五日午後一時から、日本化学会東海支部主催の訪日学者講演会が総合技術研究所二階の視聴覚室で開かれました。東京、

京都で開催された学会に出席するため来日中のアポ・アカデミ大(フィンランド)化学プロセスセンター(PPCC)のアリ・イヴァスカ教授が、「PPCCにおけるフローインジェクション分析法およびシーケンシャルインジェクション分析法について」と題して講演(写真)、約三十人の学生が熱心に聴講しました。
担当した工学部応用化学科の酒井忠雄教授(応用化

日本発育発達学会

D・L・ギャラヒュー教授
(アメリカ)



藤井勝紀・基礎教育センター助教授(総合教育教室)が会長を務める日本発育発達学会第二回大会が三月二十七、二十八日の二日

間、12号館の二、四階講義室などを会場に、延べ約三百人が参加して開かれました。二日間で52研究の発表が行われ、初日は開会式のあと藤井会長の「発育発達とウェーブレット」と題する会長講演やシンポジウムがあり、午後からは米インディアナ大学教授のデビット・L・ギャラヒュー体育学部長による特別講演「運動発達と運動スキル習得：理論的基礎について」(写真)などが行われました。

ブダペストとパリで交流試合

フェンシング部の監督・選手6人

横井浩治監督(入試広報課係長)と経営情報学科の谷口哲平、関口智晴、加藤玄、前田佑哉、青木優選手の計6人が3月2日から14日まで、ハンガリー・ブダペスト、フランス・パリに遠征、現地の選手たちと交流試合をして腕を磨いてきました。3～7日はブダペストでナショナルチームの合同練習に参加したり、クラブチームのホンヴェートとサーブルやエペのファイティング(試合形式の練習)もしました=写真。パリに到着した10日夕も、早速クラブチーム・レーシングとのファイティングに汗を流しました。横井監督は「強くなるためには体力づくりと技術の向上が必須。海外の有力選手は、この基本をキッチリ身につけていると痛感しました」と、遠征の成果を話していました。



学専攻によると「少量の試薬で金属、ガスなどを迅速に分析。データをフィード

バックして排水管理や金属などの品質管理に役立てるための研究」とのことです。

東南大へ学生代表团

森豪基礎教育センター教授を団長とする第十回学生代表団の一行二十一人が三月七日から七日間、姉妹提



携校の東(中)南大(中)国・南京(市)を訪問し、留

学生宿舎の見学や日本語学科の授業参観、学生交流会の参加など、交流を深めました。例年は九月の実施ですが、昨年は新型肺炎問題などがあり、半年間延期されていきました。なお、東南大の学生代表团は、愛工大の大学祭に合わせて十月に来日する予定で、例年、大祭を楽しみながら交流を深めています。

編集後記

設備投資額や採用予定者数の増加など、景気の先行きに若干の明るさが戻ってきているようです▼とはいも次々と明るみに出て、こんな事で本当に日本の将来は大丈夫なのかと、考え込んでしまいます▼世界情勢も、イラクの混迷は深まるばかりだし、南北朝鮮問題は一向に歩み寄りの兆しは見えませんが▼そんな中、写真グラフでも紹介しましたが、選抜野球の名電×社戦。あのスクイズ外しは本当に見事でした▼野球部の倉野光生監督にもお聞きしましたが、投手が外した球筋は、そう簡単に捕球できないようなものでは無かったようです▼その一瞬の動きが、これほどいい結果につながることは、そうざらにあるものではないでしょう▼運と、日ごろの練習成果、それになによりも、状況を的確にとらえる判断力がものをいいます▼準優勝に終わったけれど、選手たちは優勝以上の体験をしたのではないのでしょうか。それに、最終目標はまだ残っています(柳)